

麦の穂

～はばだけ！ ひょうごっこ 素敵な未来へ～

劇団「麦の穂」は、平成11年7月に兵庫県警察本部少年課（現：少年育成課）の少年サポートセンターに勤務する少年補導職員で結成し、県下各地で公演を重ねています。

劇団員は通常、それぞれが勤務する少年サポートセンター（県下12箇所）で不良行為少年の街頭補導業務や少年相談業務等を担当しています。

公演では、音響・照明等も自ら担当し、オリジナル脚本で少年非行問題を伝えます。

《上演劇》 ころろ開いて、輝く明日（あす）へ

1 劇団結成の経緯

県下の少年サポートセンターに勤務する少年補導職員が、学校等において、生徒達に薬物乱用の危険性を伝えるに際し、寸劇形式にして公演を実施したところ、学校関係者や生徒、保護者からも好評を得たことから、その後、少年の規範意識の向上及び少年問題解消に向けた地域社会の役割と重要性について共通認識を醸成するため、劇団を結成するに至りました。

平成22年度からは、ハートスキルアップ（心の能力向上）劇団として、広く保護者の方にも、ご覧いただけるように取り組んでいます。

2 概要

本劇団の脚本は、少年補導職員自らが少年補導活動等の現場において実際に取り扱った事案をベースに作成しております。

劇団設立当初は、薬物乱用防止（主にシンナーの恐怖）を伝える内容でしたが、子どもたちを取り巻く環境の移り変わりと共に、インターネットの危険・万引き・いじめ等もストーリーに取り上げ、今回は、インターネット上でのトラブルや、喫煙、低年齢化する薬物乱用、子ども達の問題行動の背景にある複雑な人間関係等について考えてもらうようになっています。

3 ストーリー

片時もスマートフォンが手放せない“じゅり”と、インターネット利用について母親との約束を守り、じゅりを心配する“まお”の二人は、インターネットで知り合った“あいな”と実際に会うことでトラブルや犯罪に巻き込まれていきます。犯罪や危険を回避するためには何が必要で、どういう行動を取らなければならないのか、考えながら見てもらいたいストーリーです。



少年の健やかな成長は、県民全ての願いです。
私たちは、非行少年とその保護者の心の問題を「演劇」を通して語っていきます。
そして、このストーリーがみなさんの手助けになることを願っております。
ハートスキルアップ劇団「麦の穂」一同